

第1回経営協議会記録

日 時 平成26年4月14日(月) 15:00～16:16

場 所 柏原キャンパス事務局棟小会議室

出席者 栗林学長

小川, 高橋, 竹村, 塚本, 橋本, 浜中, 越桐, 入口, 中西, 若井, 向井

以上各委員

陪席者 小田監事, 山西監事

開会に先立ち, 栗林学長より委員の紹介がなされた。次に, 議事の進め方について, 開催通知の順番に進める旨の説明が行われた。

議題(1) 学長選考会議委員の選出について

栗林学長から学長選考会議規程第2条第1号に基づき, 経営協議会4号委員の中から選出することとなる旨説明があり, 協議の結果次の4名の者が選出された。

経営協議会委員から学長選考会議委員に選出された者

高橋叡子 委員 塚本英邦 委員 橋本勝信 委員 浜中宏司 委員

報告事項(1) 平成26年度概算要求内示について

宮崎管理部長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(2) 平成26年度予算について

宮崎管理部長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(3) 平成25年度実施大学機関別認証評価「評価結果」について

若井理事から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(4) 教職大学院設置について

越桐理事から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(5) ミッションの再定義について

若井理事から資料に基づき報告がなされた。

【主な質疑】

・設置を予定している教職大学院には現場に密着した実践的な教育力を持つ先生を配置するのかという質問があり, その指摘も踏まえて検討するという回答が栗林学長よりなされた。

・大学で取得できる一種免許と教職大学院で取得できる免許はどのような差があるのか, 教職大学院に現職の教師が通うメリットはなにか, という質問に対して, 一種免許と専修免許に業務上実質的な差はなく, また現職の教師が通うメリットについては, 現在教育委員会と調整をしているという回答が越桐理事からなされた。

また中西理事より, 教職大学院で取得できる資格の外形的な部分が指導主事にもたらずメ

リットはわかりにくく、大学院で学んだことを業務にどう生かせるかが重要との発言があった。

・教職大学院の連携校に小規模の大学に対しても門戸を広げれば学生を集める手段になるのではないかという質問に対して、教職大学院設置後その方向も検討しているという回答が栗林学長からなされた。

・関西大学・近畿大学と連携を組む狙いは何かという質問に対して、大阪の中でも大きな大学であり生徒に様々なニーズがあるという回答が栗林学長よりなされた。

・教育研究評議会の議論の内容について経営協議会でも共有してほしいという発言があった。

・入学者の定員割れや超過率の分析結果及び、大学院の授業料特例措置の検討状況について次回以降に説明してほしいという発言があった。

・どのような人にどのような成果があったのか見える化を図った上で、教員のインセンティブに予算を使ってほしいという発言があった。

・教職大学院について、将来的には地域の様々な家庭環境の生徒にどう対応していくかといった授業もしていくべきという発言があった。

今回は、平成26年5月20日（火）の15時に天王寺キャンパスで開催することとなった。

以 上